夕刊 磐城新聞
八月十九日發行
定價一ヶ月金六十五錢
發行所 磐城新聞合資會社
（日曜祭日翌日休刊）
東京振替一〇八五五六五番

天氣豫報 小名濱測候所發表
今晩は北東の風曇
明日は東の風曇一時晴

銀座マン

河崎一息

從子の追及を逃れて忙しく三等急行へ乘り込んだのは日が暮れて間もない頃だつた。感激の首途を送る歡呼の聲を後に、まだしみ込んでゐるトタン屋根の蒸暑さを感じながら、一人旅の淋しさからふとボックスを見廻した。私のボックスには禿頭にして目下枯淡な（?）しき爺さんとニグロ風の男と思はれる赤黒い男が居た。涼風をシャツに孕ませながら彼は話しかけて來た

『君の學校はどこですか』

彼は顏の割にすごみはなく近頃の所謂小說的綺麗をことゆう第一印象を得た

『○○高校です』

『○○高工?、おや○機關君がいいでせうね』

たゞ見をれなさうでもやいけねえ。之でも自慢二○（?）を頭に戴いてゐるんですぜ。と啖呵の一つも切りたかつたが、人格者にして且つおとなしい（?）私は極めて女性的に、受動的に動いちやつたんだ

段々と私特有なる理科的觀察の眼を下してゆくと彼なる人物は柳の下に、圓盤の狂騷曲否シンフォニィやら樂しむいとも幸運（?）なる銀座マン氏ではなかた。月給半ダース（家華なる?）彼女へのプレゼントには痩せる思がする』と語らぬ彼の告白）顏のこんなに黑くなつたのは、彼女との海水浴數度に及び一爲（それおやあ赤いのは何の爲でせう）

いやに彼女くへ連發するが話しの樣子はどうも主客觀時には彼女にとつていえも影の薄い樣に思はれたが恋け私の靜身か?、いや靜けおか?

斯くするうちに枯淡爺さんは白河夜舟だし、先程までつゝましく本を讀んでゐた向ふの窓ぎはの乙女はいつしか寢顏に頭をつけて口をあいて寢てしまつた。

やゝあつて檢札が來た。例の銀座マン氏急行券を持つて居らつしやらない。盛岡迄く一圓也を沒收されて大へきり。それにしても盛岡驛。三時五十九分。夜中の頂上。やつと我が着いてあわてた所で絕對絕命ホームの灯。もう湯本を通過したらしい。私は荷物をまとめ始めた。彼は手帳を千切つて左記の住所を書いてくれた

京橋區入舟町三丁目一の三號
山下方 角丸 隆

そして『東京へ歸つたらお手紙頂戴ね。敎育してあげるよ。でも女ちやないから誘惑はしませんよ』

白い齒をニッとだして、骨つぽい私の手に熱い彼の手をあてた

銀座マン。君との再會は眞に夢の樣だ。君の住所。今千切つて捨てた所だ たゞ淡い三時間の夢のやうな話さ

花賣花屋

今井十九二

花
花
朝の靜かな街の角
花屋のはさみは
チョキ チョキひびく

花
花のかほりが香ふてる
花屋の後から
小犬がついく

花
晴れた通りをうれしげに
花屋がお花を
かついで通る

呈助川代議士

珠雲 小野務平

經國濟民歲職全
農郎開發幾經年
果然栩擢任參與
要爲聖明心力宜

平局俳黎會八月句會（六）

根本夜時女
雨過ぎし褄にすがし蟬の聲
蚊帳のもと電灯暗くひとり編む

大和田水明
市街の小石流るゝ夕立かな
夕立雲まなく空をうづまけり
鶴の舞ひの詫き消えて何處かな
朝顏の垣崩れゐる葉家かな

『個性』の獨立 —新しさに就て—

○△生

（上）

いろいろの本を讀み、又いろいろの會合などに出ていろいろの論說やら感想やらに耳を傾むける。さういふ機會の多きこと、けだし今日の如きはないのである。同時に□□拘ること、けだし又今日の如きはないであらう

彼等は、何物をも有つてゐないかの如くである。ものは云つてゐる。理窟ばつたことをあげつらつては居る。――それぞれの持論もつには有つてゐる。とネつた書き方や話術でもつて□し□つてゐる。だが、

彼等は所詮、何物をもゝつてゐないと云つてゐゝ

『新しさ』と云ふ奴は、新しがる事ではないのだ。まして云ひふるされた常識を衒つた形式でゴタゴタ混せ返す事ではない。そこには『個性』といふ問題が入つて來、社會觀やら、勉强不勉强といふ問題が入つてくる。わけても『個性』と云ふしろものは、作家の場合はなはだ重大な問題だと云はねばならぬ

『個性』と『個人主義』はうつかりすると混同されるおそれがあり、何か關聯あるさうにとられがちだが、こゝでいふ『個性の獨立』は、個人主義とは全然別個のものである

8月20日
——
△藤原定家歿（仁治二）△藤原俊成千載和歌集を上る（文治三）△朝倉義景歿す（元正元）△細川幽齋歿す（慶長一五）

講談

妖刀流轉（ようとうるてん）

(167) 邑井貞吉演 佐々木今朝吉畫

親子の辛苦（一）

蘢藤嘉平次の遺兒六太郎本年十歳の少年でありますが、母親おちかが血涙を絞つての訓戒に、小兒ながら一日も早く父の仇原瀨軍殿を討つて、草葉の蔭に在はす亡き父の、修羅の妄執を晴らして進め度いといふ、勇猛な敵愾心が燃えて參り毎日々々早朝から府中鷹匠町の澤田角右衛門方へ通つて、一心不亂に武藝の稽古を致します

何でも早く强くなり度いといふ一生懸命だから、上達も早く、その太刀先の鋭い事、角右衛門もこれは見込みが有ると喜んで居る

然しながら一方西條乘之進の病氣は、依然として少しも快くならず、身動きも出來ずに寢たつ切りだから看病の手も掛る。おちか上た

召使は尙の事、なかく十內が草鞋を作つたり、時たま他處の農家へ手傳ひに行つたりする位では、充分の補助には成らず、おこよなども此頃では襤褸を綴ひ打かぶつて働いて居ります

その中に年も明けたが、主從六人正月らしいめもせず、如何なる前世の報ひにて、斯かる苦難を重ぬる事かと、涙に暮れて居りました

時は極寒の折で、朝來の大雪その中をも厭はず、大太郞が健氣にも稽古へ出て參ります

澤田角右衛門、大太郞が此の頃は血色も勝れず、繼だらけの衣類が破れても、繼つた儘着用するほどで、服裝の良くない體を見まして、苦勞人の澤田だから、十內の梅は花殊に芳しく、人間萬事忍耐にありぢや、吹雪

おこことよと交代に附つ切りで世話を致し、幼いお梅までが撫でつ擦りつ介抱を致しますが、前申し上る通りの有樣ゆえ、おちかの懷中はいよく苦しく成るばかり、僅かの貯蓄も悉く費ひ果しまして、此上はとおちかが見榮も振りも云つては居られません、衣服から頭の物、ボツくと賣拂つては金に替へるのだが、高金を出して求めた品でも賣拂ふとなれば二束三文の安値になるのは是非もなく、今日ではおちかが着のみ着の儘の見すぼらしい姿となり苦勞にやつれてこれ程の美人が見る影もありません

御主人がこの有樣だから扱ては十兵衛之進一家の貧窮を察し、親友の事ゆゑ補助をも與へようかとは思つたが、イヤくなまじな事をして大太郎に依頼心や油斷の心を起させては成らんと思つたから、態と心を鬼にいたし、平日の通り烈しく稽古をつける

戸外はドツくといふ大雪で、それが爲めに日の暮れようも早い

『今大太郎これへ參れ』、これは其方は少年乍ら武士の子、今日の通りの大雪になつたが、聞けば大望のある身とやら、これしきの風雪に恐れて家へ歸れぬようなことはあるまいな、艱難汝を玉にすとは古人の敎へ、寒に耐ゆる中を遠方へ歸るのが今日辛くとも、それが後日の爲めの藥になる、樂をし度いと思ふたら、早く武藝を一人前に上達させ、立派な武士となる事ぢや、サア夜に入らぬ中早く歸りなさいよ』

『有難う存じます』と大太郎が跣足になり、吹雪で傘は迚も保たないから、菅笠で降る雪を凌ぎながら、寒さに慄へく我家をさして歸りますが、思ふようには歩けない

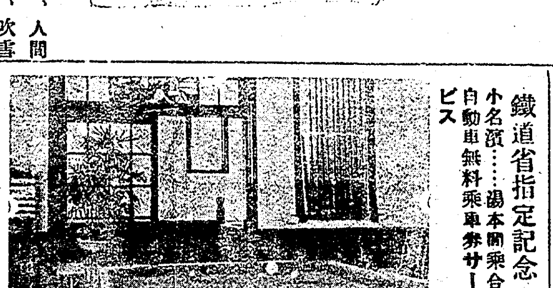
足は冷たさに眞赤となり終ひには感覺を失つて、了ふばかり、辷りつ轉びつ漸うの事で雪の中を歸つて來る

廣告

安齋外科醫院

鐵道省指定記念
小名濱……湯本間乘合自動車無料乘車券サービス

乘車券は小名濱馬目自動車店、西野屋自轉車店、湯本驛前丸本、矢內自動車店に御座います。三人樣以上はハイヤー!をサービス致します。何卒御利用下さい。



小瀧へ!!!
◇宿泊料 1.50 2.00 2.50
（御滯在は左記料金にて中食料をふくませます）
◇日歸浴席料 .20
◇自炊料 .50—.80 {入浴料・室料 夜具料一切}
◇料理一定食 .80 1.00 1.50
（その他一品料理洋食）
◇湯効 神經痛・リウマチス・胃腸病 痔疾・婦人病・逆上・中風肥・胖病
（內務省東京衛生試驗所檢定濟）
◇諸設備 撞球臺・高級ラヂオ・大廣間 讀書室・近代式浴場と洗面所・水洗式便所 小動物園・タクシー部・御子樣運動器具
◇名物 川魚料理（うなぎ・鯉）蜂密羊かん
●女中數名入用●
常磐線湯本驛 小瀧鑛泉
御旅館 御自炊 瀧の湯
電話（小名濱）103番

新車のお知らせ
斷然!!! 乘心地良い!!!
七年型フォード
入庫しました。
是非! 御試乘の程を!
市內四丁目
スズキタクシー
電二一七番

診療科目
一、齒科一般
保存科、補綴科、矯正架工科
齒列矯正科、小兒齒科、齒槽膿漏科
一、口腔外科
一、レントゲン科
中野齒科醫院
院長 日本齒科醫學士 中野惠次
日本齒科醫學士 西川誠
（見習看護婦募集）
平市田町（松月堂向ヒ）（電話五〇九番）

夜間診療
胃腸 性病
內科 胃腸病科
花柳病科 性病科 皮膚科
專門
松村胃腸性病科醫院
（平市南町電一〇七番）
（見習看護婦募集）

產科 婦人科 花柳病科
午前宅診 午後往診 入院應需
井坂醫院
平市田町（元合津醫院跡）
電話五五九番

平病院
平市警察署側（元磐城共濟病院跡）（電六四一番）
院主 院長 醫學博士 鈴木定藏
內科 院長 醫學博士 鈴木定藏
小兒科 部長 醫學士 木下基一
產婦人科 一般外科 皮膚尿泌器科 部長 醫學士 池谷宗三郎
レントゲン科 物理的療法科 部長 醫學博士 鈴木定藏 技師 岡田重德
藥劑科 部長 藥劑師 吉本孝平
◎診療時間 每日午前八時ヨリ午後九時迄（夜間診療ニ從事ス）
往診隨時（急患ハ此ノ限リニアラズ）
病室完備……入院隨時（自炊ノ便アリ）
入院料 一日 特等―貳圓 一等―壹圓五拾錢 二等―壹圓參拾錢

外科一般 內臟外科
レントゲン科 泌尿器科
北川外科
（血液檢査每日）
イツデモ入院デキマス。
平市新川町二七（電四六四）
醫學博士 北川芳夫
技師 小林良次

吸入用酸素 純度99%
衛生器
モノサシ マス ハカリ
體溫器 寒暖計
開內藥局
電話四〇番

皮膚科 泌尿器科 性病科 專門
診療時間 午前八時ヨリ午後九時マデ
平市田町
江尻醫院
電話六九一
醫學博士 江尻伊三郎
入院隨意

旅舘 大手舘
東京上野町驛前 下谷郵便局通角
電話下谷六七七番
私は平市出身ですから特に郷里の皆樣方の爲めに御便宜を圖ります
主人 比佐棟雄

豆炭、コールタール販賣
一、品川豆炭
大袋 五貫匁入 金七十五錢也
小袋 壹貫匁入 金二十錢也
壹袋カラ配達致シマス、ドウゾ御注文下サイ。
一、コールタール一本（十五キロ入） 金九十五錢
一本ヨリ配達致シマスカラ是非御試メシ下サイ。
電話三七番
平驛前
阿部石炭店

強豪小坂を屠つて磐炭選手に榮冠輝く
東北礦山野球戰績

松尾礦山對磐炭の準決勝戰は十八日午前九時十分より仙臺市評定河原球場において磐炭先攻で開始、延長戰の後九對八で磐炭辛勝し決勝戰に進む、閉戰十一時四十五分、磐炭對小坂礦山の優勝戰は同日午後三時五分より磐炭の先攻で開始、小坂意外に元氣なく五對一で磐炭快勝し、優勝杯を獲得した、閉戰四時五十分

磐	1	1	1	0	0	1	0	0	1	—5
小	0	1	0	0	0	0	0	0	0	—1

先攻の磐炭は小坂山形投手の不調に乘じ、よく待ち、打つべきは打つて三回迄に三點を擧げたり、小坂は四回山形投手を退け清水をプレートに送つたが、清水も四球を連發、五回再び山形投手は得意の外曲球流れ過ぎ制球難に苦しみつつ磐炭の決定的打力乏しきに救はれ六回、九回に各一點を與へたのみで辛うじて敵の攻擊を阻んだが、小坂の打擊沈滯して二回に一點を擧げたのみで遂に反撥することなく終つた、磐炭涌井投手は猛手投げ浮氣味の直球に外角に小さく曲る曲球を交へて好投し、味方の堅固な守護に助けられて危氣なく完投した度々難球を美事に處理した磐炭遊擊手の堅實な守備は賞讃に値する兩軍實力にさしたる懸隔は認められぬが、小坂は投手陣の不調と共に全軍氣力に缺けた憾みがあり、左記顔ぶれからなる磐炭の優勝は順當の結果であらう

（一）鈴木　（右）設樂　（投）涌井　（遊）磯貝　（二）渡邊　（捕）沼田　（左）佐藤良　（中）佐集　（三）水野

	打數	安打	犧打	盜壘	三振	四球	失策
磐炭	33	7	0	2	2	2	7
小坂	31	5	0	4	5	11	2

△三壘打—涌井　△二壘打—設樂

農友普及協議 神谷農事試驗場で

郡山農事試驗場內農事講習同窓會石城支部長會議を來月二日神谷農試分場に開く右は機關誌『農友』を今後更に各町村農倉と協調をとつて普及せしめこれが農業遂行に萬全を期すものである

入山惜くも二位 磐炭軍之に次ぐ
庭球

礦山協會仙臺常務委員會主催第五回東北礦山庭球大會二日目の十八日は午前八時から仙臺市片平丁東北帝大の理學部、法文學部兩コートで催された、地方三大炭礦の戰績は

法文コート（午前）
入山3—0細倉
小坂2—1古河
小坂2—1入山
尾去澤2—1古河

理學部コート
磐炭3—0花岡
同2—1吉乃
日石2—1磐炭

理學部コート（午後）
入山2—1吉乃
花岡3—0古河
花岡2—1入山
日石3—0古河
入山2—1日石
吉乃2—1古河

法文コート
入山2—1尾去澤
古河3—0細倉
磐炭2—1小坂
同3—0細倉
同2—1尾去澤

で得點の順位は次の如くである

1日石24點　2入山22點　3磐炭20點　4花岡19點　5小坂17點　6尾去澤16點　7松尾15點　8釜石11點　8古河11點　9吉乃10點　10細倉0點

融資町村 實地調査
大藏省預金部の曾田事務官

大藏省事務官來郡は吉田、山口兩屬と共に十九日來郡來る二十四日事業の資金融通をうけてゐる鹿島村、小名濱町、同町第二住宅組合の實地調査を行ふ

銃後に 附近民が同情し除草のお手傳ひ
捧ぐ「汗の支援」

上遠野村瀧大字山崎蛭田幸房氏（三三）は妻子五人を殘して入隊したため家庭は働き手をもがれてしまつたので部落民八名は去る十三日辨食携帶の草取りをなした、銃後に捧げた『汗の支援』として附近民を感動せしめた

○

內鄕村白水字長槻大越美身氏（三二）も妻子三人を殘して皇軍の第一線に奮闘中であるが同村部落青年團では既に二回に亘り水田除草をなし家族を感激せしめた

家族は元氣だ！
江名町で寫眞發送

江名町では皇軍慰問費として集めた五百圓のうち三百圓を送つたが殘二百圓では軍人家族の寫眞を送ることゝなつた

獻金

（福島聯隊區司令部寄託）二十圓 泉青年學校　十圓 四倉親和會　三百五十圓 四倉町各種團体　七十五錢 勿來町岡　七圓 同白米念佛講一同　三十圓 同五十嵐健夫

高久出身の十八娘家出
背後關係を追究

高久村出身小菅刑務所官吏壽氏四女松井貞子さん（一八）は數日前親元から家出、十八日横濱市中區中村町附近を徘徊中壽署に保護された同女は二、三變顔を合せたばかりの横濱市磯子區仲町岸井福（三〇）に誘拐された形跡あり、岩井を婦女誘拐犯人として捜査を進めてゐる

あす十五日
名物念佛團の跳躍と櫓を繞るマスゲーム
冷涼の夜を盆氣分氾濫

昨宵十三日は盆の入りとして上々の天候。各寺院への精靈迎へに市內は每年乍らの賑ひを見せた。新盆の家には例の泉石の數奇を凝らした涼味萬斛の築山などが造られ、屋內所狹きまでに下げられた提灯の灯影も明るく大に舊盆第一夜の氣分を漂はせた。名物チャンガラ念佛は昨晩早くも湯本町に第一聲を揚げ、今夜は附近村落、明夜は各方面から乘り込んで來る幾組かによつて全市をはづむ樣な鉦太鼓の律調と潮の如き見物人によつて埋め恐くす。櫓を繞る月下のマスゲームは既報の如く驛前南町と二ケ所に於て催され、之に一段の興趣を添加する笠踊りや組踊り等、等、男だてらに顔を眞つ白にしたのが鋪道に愉快な跳躍を見せて踊る人見る人の何れも夜の更け行くを覺え無い。明日こそ盆氣分の最高潮に達する舊の十五日ではある

踊り子の心得

盆踊の取締について平署當局では左の如く語つてゐる

踊りは午後十二時以後に至らぬこと、又男性と女性の見さかへのつかぬ扮裝はいけないし風俗壞亂の取締は時節柄一層嚴重にする方針である

助手も起訴 バス衝突事件

既報—死傷二十二名を出した木戸驛構內急行列車バス衝突事件の際のバス運轉者たる助手澤田勇（三〇）は平檢事局の取調べを受けてゐたが十九日業務上過失致死、並に傷害罪で起訴された

勝男君溺死

內鄕村高坂坑夫文藏長男渡邊勝男（八）君は十七日午後十時半頃好間川で水泳中溺死

爆破犯人 原審服罪

赤井村坑夫廣川眞治（四七）は既報の如く去る五月二十三日の夜同郡湯本町入山小學校の床下にダイナマイトを裝置して爆破させ福島地方裁判所から爆發物取締規則違反として懲役三年六ケ月に處され不服であるとて宮城控訴院に控訴したが十七日控訴を取下げて原審に服罪した

平局榮館主事榮轉

平郵便局主事通信書記榮館正氏は十八日付山形局郵便課長に榮轉した

泥的藤太郎に懲役
けふ一年二月求刑さる

昨報—磐崎荒しの埼玉縣比企郡平村生れ岡野藤太郎（三二）の公判は十九日平區裁判所で木裁判長、櫻井檢事立會で開廷、懲役一年二月を求刑された、言渡しは二十日

銅線泥

內鄕村綴磐炭坑夫鈴川正雄（四一）は去る五月から八月迄同館綴坑機電係詰所から銅線十貫匁、鉛一貫五百匁を盗み同村小島松本高次郎（三二）に情を明かして密賣したこと發覺兩名共十八日平署に檢擧

公金を橫領す
數々の舊惡露見 簑輪の元小使檢擧

簑輪村大利元同村役場小使新妻三郎（三二）は去る昭和九年三月中當時の平稅務署長唯野喜八氏が公務のため出張、現金在中の折鞄を草野書記に預けたのを見て邪心を起し留守中十圓を拔き取つて費消した外昨年十月內市八幡小路酒井秀次郎氏が同村役場へ納入した稅金十圓五十六錢の總替分を橫領し好間局から拂戻してうち五十錢を費消　又昨年六月中同村戶作田片川秀吉の一人娘ヤヨ子（二〇）—何れも假名の寢室に忍び込んだが騷がれて未遂に終つたこと此程發覺平署に檢擧された

初秋の高月台上 先生達の奮闘
縣下競技豫選迫る

既報—來月五日磐中グラウンドに擧行される小學校教員縣下競技大會豫選に出場の平市內小學校體育部選手左の如し

△第一校—四百米鈴木武雄　八百米繼走　走高跳同　籠球三森芳直　同中山正夫　劍道四家利夫
△第二校—籠球高畑正次郎　柔道塚原央
△第三校—百米根本芳男　八百米同　八百米繼走西窓須富　走高跳同　砲丸投同　籠球風間覺雄　劍道大友能一
△第四校—八百米繼走鈴木正　走跳巾同　砲丸投同

七夕祭座談會（5）

出席者

平廣告研究會　內藏武雄　綿引富郎　馬目精一
野麥社　石橋柴子　野本多賀夫　白木英尾
本社　鈴木光二

○結尾

綿引　なんしろ今年などは技術はたしかに上達したよ、店主の意向より作る店員達の創作力でドシ〳〵やつてゐたやうだ、然し餘り考へ過ぎたので一寸行きづまつてしまつた傾向が見られるんぢやないかな——

野本　七夕は何と云つても綜合藝術ですね

內藏　そうですよ。紙と鋏で作り上げた藝術品でせうね

白木　先程もこの話が出たが、ほんとうのものを使つた七夕飾はどんなものですかね。例へばショウウヰンドの人形を使ふのなどは——

馬目　それはあまりに感心しないでせうね。飾りを古典的な感じにすることもよいが、平の躍進振りを表現することが一番必要ぢやないですか——

綿引　マア、時代の空氣を吸つて、みんな上手ですよ、そんなに七夕本來の使命を云々することもないやうですね

白木　やはり、七夕なんていふものは熱と意氣で作るんでなければ駄目でせう

馬目　さうですよ。今年などあれ程の人が來たんだから來年は一層やらねばならないと思ひました、來年からは一つ商工會で早く方針をたて、新聞で書いてくれればみんな意氣込むことゝなるね

白木　懸賞は早いね、七夕に懸賞は一寸おかしなものだ

綿引　懸賞などをやらずに、每年この程度にやればいゝんだが——

內藏　それから、觀光費のうちに七夕の補助豫算を計上して貰へるやうになれば、この名物も一層效果的な素晴らしいものになると僕は思つてゐるね

白木　一体、市當局者はこれほどの行事に對して、あまりに冷淡でないですか屁つまらんところにいゝ加減な金を出してゐる癖に、七夕を鄕土振興策の一つと見做して何らかの方策に出ないといふことは、寧ろ市當局者の無能ぶりを示してゐるやうなものだ、この點は大いに考へて貰はねばならないと思ふ

綿引　實際、こんどの驛前の廣告塔だつて、我々廣告研究會の若い連中が出し合つて作つたもので、市當局からは一文の援助も貰つてゐない。『歡迎市役所』の名前さへ貸して貰へなかつた位だから、あとは推して知るべしだね

白木　あれは廣告研究會の仕事だつたんですか

內藏　そうなんですよ。『市役所』の名前を入れようと思つて話に行つたんですが、駄目だつたんです

馬目　そこへいくと驛ではなか〳〵理解があつていいと思ひます。あの位の熱意を以て接してくれることは非常にうれしいですね。七夕を宣傳するにはどうしても鐵道の力が大きいと思ひます

野本　今晩（舊七日）などとても歩けませんね、交通整理が樂でないね

綿引　まつたく警察としては厄介なことで、只苦勞なことに違ひないね

白木　遲くなりましたから、この邊で——、ありがたうございました

鑑判定應需　東京市本鄕區湯島四丁目　高島易斷總本部　神誠館

△一白　草木慈雨を得て益々繁茂成長するが如き日△二黑　秩序を過たず確信せる方針にて榮達する日△三碧　雄大なる計劃もとんざし實利を得がたき日△四綠　新規の事に勞を費さんより現業に力を盡せ△五黃　身心を打ち込みてあくせずなければ吉となる△六白　四邊に氣を配り心を亂さず落ち付あれば吉△七赤　剛き果斷に萬事を處すれば大に發達を見る△八白　他を敬愛し己を捨てゝ仁を行へば幸を招く△九紫　喜怒あい樂は廻りて常に止まざる水車の如し

新八月二十日　金曜　己卯　先負　破　亢宿　舊七月十五日

二十日（小名濱潮汐發表）
滿潮　前二、〇五　後四、二五
干潮　前九、三五　後九、四〇

辭令

平區裁判所書記　田中武夫
補福島區裁判所書記

復寫鮮明 筆觸快適 ゼネラル カーボン紙 魁文堂 電話313番

御みやげ……に 御贈答……に 味に包裝に 鄕土色豊かな 潮の華（一本十錢） 進物用 50 70 1.00 平市五丁目 泉屋菓子舗 電話六六八

上原家政婦會 平市紺屋町一一 會主産婆 上原通子 電話二二二番
産婆看護婦資格有者ニシテ最モ熟練ナル者ヲ一般家政婦トシテ派出致シマス

科外生募集
邦文タイプライター科（時代の尖端を行く現代婦人の職業）
入學は毎月—隨時 卒業期間—五ケ月 器械使用材料費—月金參圓五十錢
☒卒業者の就職照會は各方面と連絡を有し斡旋致します
洋裁科 躍進日本婦人の家庭職業
入學は毎月—隨時 卒業期間—本科一ケ年 速成科—六ケ月 月謝（ミシン使用料共）金三圓五十錢 外に裁斷科三ケ月卒業の設あり
（細目表—部分拔萃）基礎縫、割烹着、寸法取り方、原型割出、ブルマー、スリップ、エプロン、コンビネーション、ロンパース、簡單服、セーラー、シュミーズ
入學の資格（兩科共）高等女學校、實科女學校を卒業したるもの、本校本科を卒業したるもの、其他本校に於て相當、認めたるもの
文部大臣認可 平陽女學校 平市 電話四五五番

男女學生夏服 高島屋の洋服 新柄背廣 レンコート 注文並ニ既製品 高島屋 平市二丁目 電話三八六番

カメラ材料 藥品百貨 西村屋藥局 平電話3番